

江東区子育て世帯生活実態調査（速報値）の結果概要について

1 調査の概要

（1）調査の目的

令和6年度に策定予定の「江東区こども・子育て支援事業計画」の次期計画において、引き続きこどもの貧困に関する対策を盛り込む予定である。そのため、保護者の所得やはく奪指標等により便宜的な貧困（生活困難）層を把握するとともに、貧困（生活困難）層の生活、教育状況やニーズを把握することを目的とする。

（2）調査対象者

- 江東区内在住の小学校5年生児童とその保護者【2,000件】
- 江東区内在住の中学校3年生生徒とその保護者【2,000件】
- 江東区内在住の児童育成手当受給者（小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒を養育する者）【1,608件】

（3）抽出方法

住民基本台帳により無作為抽出した。
但し、児童育成手当受給者については、受給者のうちひとり親世帯全員とした。

（4）調査方法と実施期間

郵送配布・郵送回収により実施した。

なお、調査票は「小学校5年生児童票」、「中学校3年生生徒票」、「保護者票」、「児童育成手当受給者票」の4種類があり、小学校5年生児童と中学校3年生生徒はそれぞれ保護者票と同封して送付し、児童・生徒用は個別の回収封筒に封かんしたものを保護者用の返信用封筒に入れてもらったうえで回収した。

実施期間は令和5年10月9日から10月23日までとした。

(5) 回収数・回収率

調査種類	配布数	回収数	回収率
小学校5年生児童	2,000件	824件	41.2%
小学校5年生保護者	2,000件	804件	40.2%
中学校3年生生徒	2,000件	765件	38.3%
中学校3年生保護者	2,000件	752件	37.6%
児童育成手当受給者	1,608件	747件	46.5%

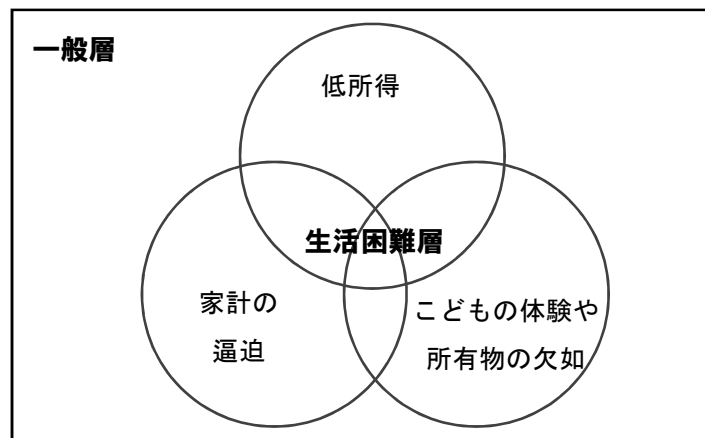
※なお、保護者票のみの回収（児童・生徒の学年の把握が不可）は158件あった。

(6) 「生活困難層」の定義

本調査では、小学校5年生児童・保護者調査と中学校3年生生徒・保護者調査において、東京都が平成29年度に実施した「東京都子供の生活実態調査」にならい「生活困難層」の分類を行った。

「生活困難層」の分類は「低所得」、「家計の逼迫」、「こどもの体験や所有物の欠如」の3要素に基づき行った。このうち、2つ以上の要素に該当する層を「困窮層」、1つの要素に該当する層を「周辺層」とした。

生活困難層	困窮層＋周辺層
困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない



参考：3要素の考え方 ～「東京都子供の生活実態調査報告書」より～

①低所得	③こどもの体験や所有物の欠如
<p>等価世帯所得が厚生労働省「2022（令和4）年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯</p> <p><低所得基準> 世帯所得の中央値 423 万円 ÷ √平均世帯人数（2.25 人）×50% =141.0 万円</p>	<p>こどもの体験や所有物などに関する 15 項目のうち、経済的な理由で、欠如している項目が 3 つ以上該当</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海水浴に行く ○博物館・科学館・美術館などに行く ○キャンプやバーベキューに行く ○スポーツ観戦や劇場に行く ○遊園地やテーマパークに行く ○毎月おこづかいを渡す ○毎年新しい洋服・靴を買う ○習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる ○学習塾に通わせる (又は家庭教師に来てもらう) ○お誕生日のお祝いをする ○1年に1回くらい家族旅行に行く ○クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる ○こどもの年齢に合った本 ○こども用のスポーツ用品・おもちゃ ○こどもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所
②家計の逼迫	
<p>経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣服を買えなかった経験などの 7 項目のうち、1 つ以上該当</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電話料金 ○電気料金 ○ガス料金 ○水道料金 ○家賃 ○家族が必要とする食料が買えなかった ○家族が必要とする衣類が買えなかった 	

2 速報値からみる傾向

(1) 保護者について

アンケートの傾向

○保護者の年齢をみると、生活困難層においては若い年齢（30代以下）の割合が比較的高く、特に小学生保護者において顕著である。（保）

■回答者（保護者）の年齢

	%	問2 あなたの年齢を教えてください。								
		n	35歳未満	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	不明・無回答
全体		1,714	0.6	9.3	29.5	35.6	18.4	3.6	0.8	2.3
小学生	困窮層	32	3.1	21.9	40.6	18.8	9.4	0.0	0.0	6.3
	周辺層	86	1.2	16.3	51.2	22.1	8.1	0.0	1.2	0.0
	一般層	561	0.7	13.9	36.9	35.3	10.5	1.2	0.4	1.1
中学生	困窮層	36	0.0	8.3	22.2	27.8	25.0	5.6	2.8	8.3
	周辺層	79	0.0	5.1	22.8	41.8	24.1	2.5	2.5	1.3
	一般層	499	0.2	3.6	17.8	41.5	27.9	7.6	1.0	0.4

○婚姻状況については、生活困難層において、小学生保護者・中学生保護者ともに「離婚（別居含む）」の割合が比較的高く、特に困窮層において1割を超えている。（保）

■回答者（保護者）の婚姻状況

	%	問3 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。					
		n	結婚している （事実婚を含む）	離婚（別居 中を含む）	死別	未婚	不明・無回答
全体		1,714	94.8	3.1	0.7	0.3	1.1
小学生	困窮層	32	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	周辺層	86	95.3	2.3	2.3	0.0	0.0
	一般層	561	97.5	1.8	0.4	0.4	0.0
中学生	困窮層	36	80.6	13.9	0.0	0.0	5.6
	周辺層	79	91.1	8.9	0.0	0.0	0.0
	一般層	499	94.8	3.8	1.0	0.4	0.0

○保護者の国籍について、中学生保護者では経済状況による差はあまりみられないが、小学生保護者では父母ともに、生活困難層において「日本以外」（外国籍）の割合が比較的高い。（保）

■回答者（保護者）の婚姻状況〔左：母親、右：父親〕

	%	問7 お子さんのご両親の国籍 A お母さま				問7 お子さんのご両親の国籍 B お父さま			
		n	日本	日本以外	不明・無回答	n	日本	日本以外	不明・無回答
全体		1,714	93.2	4.7	2.0	1,714	93.1	4.5	2.5
小学生	困窮層	32	78.1	18.8	3.1	32	78.1	15.6	6.3
	周辺層	86	88.4	9.3	2.3	86	86.0	10.5	3.5
	一般層	561	92.9	6.1	1.1	561	93.0	5.0	2.0
中学生	困窮層	36	94.4	2.8	2.8	36	94.4	0.0	5.6
	周辺層	79	93.7	5.1	1.3	79	97.5	1.3	1.3
	一般層	499	96.2	2.0	1.8	499	95.6	3.4	1.0

○保護者のうつ状態については、生活困難層において「いつも」や「たいてい」と回答する割合が比較的高く、「全くない」は一般層に比べて概ね20～30ポイント低くなっている。(保)

■回答者（保護者）における直近1か月の状況（うつ状態）

〔上段：「絶望的だと感じた」、下段：「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた」〕

%		問9 B 絶望的だと感じた						
		n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	1.5	2.7	9.0	13.6	70.0	3.3
小学生	困窮層	32	12.5	3.1	6.3	15.6	59.4	3.1
	周辺層	86	3.5	7.0	15.1	20.9	51.2	2.3
	一般層	561	0.5	2.0	8.6	12.7	74.3	2.0
中学生	困窮層	36	5.6	5.6	30.6	19.4	36.1	2.8
	周辺層	79	3.8	7.6	12.7	26.6	49.4	0.0
	一般層	499	0.4	2.0	6.4	10.2	79.6	1.4
%		問9 D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた						
		n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	1.6	5.2	18.2	24.4	47.3	3.2
小学生	困窮層	32	6.3	18.8	18.8	18.8	34.4	3.1
	周辺層	86	2.3	9.3	23.3	25.6	36.0	3.5
	一般層	561	0.5	4.5	18.2	24.1	50.8	2.0
中学生	困窮層	36	2.8	27.8	22.2	19.4	22.2	5.6
	周辺層	79	5.1	8.9	20.3	31.6	34.2	0.0
	一般層	499	1.4	3.0	17.8	22.6	53.9	1.2

○子どもをもってからの経験として、生活困難層に注目すると、小学生保護者においては「出産や育児でうつ状態」「わが子を虐待しているのではないかと思ひ悩んだ」などの割合が一般層に比べて高い傾向にある。中学生保護者ではこれに加え、「配偶者からの暴力」「自殺を考える」も一般層に比べて顕著に高く、一般層と困窮層とでは20ポイント以上の差が生じている。(保)

■回答者（保護者）が子どもをもってから経験したこと

%		問49 あなたは子どもをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。								
		n	配偶者（または元配偶者・パートナー）から暴力をふるわれたことがある	子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある	育児放棄になった時期がある	出産や育児でうつ病（状態）になった時期がある	わが子を虐待しているのではないか、と思ひ悩んだことがある	自殺を考えたことがある	いずれも経験したことがない	不明・無回答
全体		1,714	5.0	8.5	1.1	13.5	15.9	6.2	64.9	3.7
小学生	困窮層	32	9.4	3.1	3.1	21.9	25.0	9.4	37.5	6.3
	周辺層	86	9.3	5.8	1.2	19.8	19.8	7.0	61.6	1.2
	一般層	561	3.4	7.7	0.7	13.5	16.6	6.2	68.4	2.0
中学生	困窮層	36	25.0	16.7	11.1	27.8	25.0	25.0	38.9	8.3
	周辺層	79	10.1	12.7	2.5	15.2	21.5	15.2	51.9	3.8
	一般層	499	4.2	10.0	0.4	11.4	14.4	3.2	66.5	4.0

次期計画に向けた課題

○生活困難層の保護者においては、「若年（30代以下）」「離婚（別居中を含む）」「外国籍」「うつ傾向」といった属性をもつ割合が、一般層に比べると高く、こうした状況が貧困につながりうる可能性が示唆され、支援体制の構築上で留意が求められる。

○DV、虐待、希死念慮など、極めて深刻な状況に陥った経験を有する割合も生活困難層においては高く、保護者自身にも支援の手が届くことが求められる。

(2) 学習支援と家庭の経済状況について

アンケートの傾向

- こどものことで悩むことについては、生活困難層において「こどもの教育費」の割合が顕著に高いほか、多くの項目で、困窮度の高い層ほど悩んでいる割合が高い。
- 「こどもが勉強しない」については、小学生保護者では経済状況による違いがあまり見られないのに対し、中学生保護者では生活困難層において割合が高い。逆に、「こどもの身体の発育や病気」については、小学生保護者では生活困難層において割合が高いのに対し、中学生保護者ではあまり差が見られない。(保)

■こどものことで悩んでいること（保護者）

%	問21 お子さんのことで、現在悩んでいることはありますか。										
	n	こどものしつけや教育に自信が持てない	こどものしつけや教育について、相談する相手がいない	配偶者（パートナー）が子育てにあまり協力してくれない	配偶者（パートナー）と子育てのことで意見が合わない	こどもが基本的な生活習慣を身につけていない（あいさつ、整理・整頓など）	こどもが勉強しない	こどもの進学や受験	こどもの就職	こどもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない	
全体	1,714	16.3	4.8	7.8	8.6	18.0	21.3	55.5	7.5	13.1	
小学生	困窮層	32	25.0	15.6	18.8	15.6	25.0	18.8	56.3	15.6	28.1
	周辺層	86	20.9	8.1	7.0	11.6	26.7	18.6	52.3	3.5	8.1
	一般層	561	18.0	4.6	8.4	9.3	19.8	20.3	49.6	6.1	15.9
中学生	困窮層	36	25.0	11.1	19.4	19.4	30.6	44.4	69.4	13.9	22.2
	周辺層	79	20.3	7.6	12.7	13.9	22.8	30.4	72.2	10.1	10.1
	一般層	499	11.2	3.4	5.8	6.4	14.4	19.8	58.7	9.2	9.8

問21 お子さんのことで、現在悩んでいることはありますか。									
こどもが何事に対しても消極的である	こどもの友人関係	こどもの身体の発育や病気	こどもの非行や問題行動	こどもの教育費	こどもの食事や栄養	その他	特に悩みはない	不明・無回答	
11.8	12.5	11.8	2.3	32.3	13.0	5.0	15.6	2.1	
12.5	25.0	21.9	3.1	81.3	31.3	3.1	6.3	3.1	
9.3	20.9	24.4	1.2	52.3	19.8	5.8	9.3	1.2	
11.4	13.9	10.2	2.3	26.2	14.1	4.3	18.0	1.1	
16.7	19.4	11.1	5.6	72.2	27.8	8.3	11.1	0.0	
19.0	11.4	11.4	5.1	68.4	15.2	7.6	7.6	1.3	
11.0	9.0	11.0	1.6	26.9	9.8	5.0	17.2	2.0	

- 育成手当受給者においては、こどものことで悩んでいることとして、「こどもの進学や受験」と「こどもの教育費」がともに50%以上と、他の項目に比べて高い。(育成)

■こどものことで悩んでいること（育成手当受給者）

問42 お子さんのことで、現在悩んでいることはありますか。		(n = 747)	
No.	カテゴリ	(全体)%	(全体)%
1	こどものしつけや教育に自信が持てない	27.3	9
2	こどものしつけや教育について、相談する相手がいない	14.6	10
3	こどもが基本的な生活習慣を身につけていない	22.9	11
4	こどもが勉強しない	34.7	12
5	こどもの進学や受験	60.0	13
6	こどもの就職	19.5	14
7	こどもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない	17.0	15
8	こどもが何事に対しても消極的である	14.1	不明・無回答
			2.7
			16.1
			19.1
			6.7
			51.8
			21.4
			6.6
			9.2

○将来のどの段階まで進学したいかについて、小学生においては、困窮度が高い層ほど「高校まで」の割合が高い。中学生においては、これに加え、困窮度が高い層ほど「大学またはそれ以上」の割合が低い。(児童)

■進学希望〔小学生児童〕

%		問4 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。						
		n	中学まで	高校まで	短大・高専・専門 学校まで	大学またはそれ 以上	まだわからない	不明・無回答
層化	全体	824	1.5	6.4	5.3	53.2	29.7	3.9
	困窮層	32	3.1	15.6	6.3	50.0	21.9	3.1
	周辺層	86	0.0	9.3	3.5	47.7	34.9	4.7
	一般層	561	1.8	5.7	4.5	54.4	30.3	3.4

■進学希望〔中学生生徒〕

%		問4 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。						
		n	中学まで	高校まで	短大・高専・専門 学校まで	大学またはそれ 以上	まだわからない	不明・無回答
層化	全体	765	0.0	3.4	5.1	76.9	12.8	1.8
	困窮層	36	0.0	8.3	5.6	61.1	19.4	5.6
	周辺層	79	0.0	3.8	3.8	72.2	20.3	0.0
	一般層	499	0.0	3.0	4.8	77.6	12.8	1.8

○どの段階まで進学させたいかについて、保護者の希望としては、困窮度が高い層ほど「大学またはそれ以上」の割合が低くなっており、一般層では小中の差がないのに対し、生活困難層では中学生の方で割合が低い。(保)

■どの段階まで子どもに教育を受けさせたいか

%		問16 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。						
		n	中学まで	高校まで	短大・高専・専門 学校まで	大学またはそれ 以上	まだわからない	不明・無回答
全体		1,714	0.2	2.9	4.7	82.3	8.7	1.3
小学生	困窮層	32	0.0	3.1	6.3	62.5	21.9	6.3
	周辺層	86	1.2	2.3	4.7	83.7	7.0	1.2
	一般層	561	0.2	1.4	3.7	84.3	9.6	0.7
中学生	困窮層	36	0.0	13.9	2.8	58.3	19.4	5.6
	周辺層	79	0.0	6.3	10.1	70.9	11.4	1.3
	一般層	499	0.0	2.6	4.8	84.6	6.4	1.6

○学校の授業の理解状況については、小中学生ともに困窮度が高い層ほど「いつもわかる」の割合が低い。また、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」については、小学生ではあまり差が見られない一方、中学生においては困窮度が高い層ほど割合が高い。(児童)

■学校の授業の理解状況〔小学生児童〕

%		問26 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。						
		n	いつもわかる	だいたいわかる	あまりわからない	わからないことが多い	ほとんどわからない	不明・無回答
層化	全体	824	43.4	43.9	3.6	2.1	0.7	6.2
	困窮層	32	25.0	59.4	9.4	3.1	0.0	3.1
	周辺層	86	34.9	53.5	2.3	4.7	0.0	4.7
	一般層	561	45.6	43.1	3.4	1.4	0.9	5.5

■学校の授業の理解状況〔中学生生徒〕

%		問26 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。						
		n	いつもわかる	だいたいわかる	あまりわからない	わからないことが多い	ほとんどわからない	不明・無回答
層化	全体	765	19.2	58.8	9.2	7.3	2.2	3.3
	困窮層	36	8.3	41.7	19.4	19.4	8.3	2.8
	周辺層	79	10.1	64.6	8.9	11.4	3.8	1.3
	一般層	499	21.8	59.1	8.2	6.2	1.4	3.2

○経済的な理由により習い事に通わせられないこどもの割合は、困窮度が高い層でより高く、その割合は小学生より中学生で高い。また、学習塾に通わせられないこどもの割合も同様に困窮度が高い層でより高いが、困窮層でも中学生は5割超が通わせており、小学生に比べて高い。(保)

■習い事の状況

%		問29 C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる				
		n	している	していない、 したくない（方 針ではない）	していない、 経済的にでき ない	不明・無回答
全体		1,714	78.8	14.1	5.2	1.9
小学生	困窮層	32	56.3	0.0	43.8	0.0
	周辺層	86	91.9	3.5	4.7	0.0
	一般層	561	92.5	7.3	0.2	0.0
中学生	困窮層	36	44.4	0.0	55.6	0.0
	周辺層	79	64.6	13.9	21.5	0.0
	一般層	499	69.7	25.3	2.2	2.8

■学習塾の状況

%		問29 D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）				
		n	している	していない、 したくない（方 針ではない）	していない、 経済的にでき ない	不明・無回答
全体		1,714	68.4	22.5	7.1	1.9
小学生	困窮層	32	21.9	6.3	71.9	0.0
	周辺層	86	57.0	22.1	20.9	0.0
	一般層	561	69.2	26.9	3.0	0.9
中学生	困窮層	36	52.8	5.6	41.7	0.0
	周辺層	79	64.6	16.5	19.0	0.0
	一般層	499	73.3	23.0	2.4	1.2

○生活困難層の小中学生において、自分で使える子ども部屋や自分専用の勉強机が「ない（ほしい）」割合が高く、困窮層と周辺層でも10ポイント以上の差がみられる。（児童）

■子ども部屋の有無〔上段：小学生児童、下段：中学生生徒〕

%		問2 B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくみます）				
		n	ある	ない（ほしい）	ない（ほしくない）	不明・無回答
層化	全体	824	61.5	27.3	8.0	3.2
	困窮層	32	46.9	43.8	9.4	0.0
	周辺層	86	59.3	32.6	3.5	4.7
	一般層	561	62.4	26.0	9.1	2.5

%		問2 B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくみます）				
		n	ある	ない（ほしい）	ない（ほしくない）	不明・無回答
層化	全体	765	76.7	17.4	4.1	1.8
	困窮層	36	55.6	36.1	5.6	2.8
	周辺層	79	67.1	25.3	6.3	1.3
	一般層	499	79.0	15.4	4.4	1.2

■自分専用の勉強机〔上段：小学生児童、下段：中学生生徒〕

%		問2 E 自分専用の勉強机				
		n	ある	ない（ほしい）	ない（ほしくない）	不明・無回答
層化	全体	824	69.3	16.3	11.7	2.8
	困窮層	32	59.4	37.5	3.1	0.0
	周辺層	86	66.3	19.8	9.3	4.7
	一般層	561	70.2	15.0	12.5	2.3

%		問2 E 自分専用の勉強机				
		n	ある	ない（ほしい）	ない（ほしくない）	不明・無回答
層化	全体	765	87.1	7.6	3.8	1.6
	困窮層	36	72.2	22.2	2.8	2.8
	周辺層	79	87.3	6.3	5.1	1.3
	一般層	499	88.4	7.0	3.6	1.0

○育成手当受給者では、生活費の中で負担に感じる支出として「食費」が6割を超えて最も高く、次いで「塾・習い事」が同じく6割以上、「住宅費」が約5割となっている。(育成)

■生活費の中で負担に感じる支出（育成手当受給者）

問20 生活費の中で負担に感じる支出はどの費用ですか。		(n=747)
No.	カテゴリ	(全体)%
1	学費（幼稚園・学校）	35.2
2	保育・託児費	1.5
3	塾・習い事	61.6
4	食費	64.3
5	住宅費	49.8
6	衣服費	28.4
7	医療費	15.1
8	その他	8.6
	不明・無回答	2.5

次期計画に向けた課題

- 生活困難層の保護者の悩みとしては、こどもの教育費や進学等の割合が高いほか、生活習慣や勉強意欲、しつけ・指導など、一見貧困と直接関係ないものも含めた多くの項目で、悩む割合が比較的高く、面的な支援の必要性が示唆される。
- 生活困難層の保護者においては、一般層に比べて大学進学の希望割合が低く、特に中学生では子も含め、一般層との差が顕著であり、子が成長するにつれて進学を諦めるケースも想定される。「希望」の割合が低いことを踏まえると、経済的な支援に加え、進学についてイメージを持てる機会・情報の提供等も重要と考えられる。
- 経済的に塾通いができない割合は生活困難層で顕著に高く、学校の授業の理解も難しい状況がうかがえ、学習支援の重要性が示唆される。また、生活困難層では、自宅に子ども部屋や専用の勉強机等の環境がない割合も一般層に比べて高く、勉強できる場の整備も重要と考えられる。

(3) こどもの健康・医療への受診状況について

アンケートの傾向

○こども自身において、健康状態が「よい」と回答する割合は、困窮度が高い層ほど低い。また、「あまりよくない」「よくない」の割合は、小学生ではあまり差がないが、中学生では困窮度が高い層ほど高い。(児童)

■こどもの健康状態（自己判断）〔小学生児童〕

%		問23 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。						
		n	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	不明・無回答
層化	全体	824	50.1	21.6	18.6	4.7	0.7	4.2
	困窮層	32	31.3	31.3	31.3	3.1	0.0	3.1
	周辺層	86	45.3	27.9	22.1	3.5	0.0	1.2
	一般層	561	49.7	21.7	19.3	4.8	0.7	3.7

■こどもの健康状態（自己判断）〔中学生生徒〕

%		問23 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。						
		n	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	不明・無回答
層化	全体	765	43.3	26.4	18.4	8.0	2.1	1.8
	困窮層	36	30.6	33.3	13.9	13.9	5.6	2.8
	周辺層	79	38.0	29.1	20.3	8.9	3.8	0.0
	一般層	499	43.3	27.7	18.2	7.4	1.6	1.8

○虫歯があるが未治療である割合は、一般層と周辺層とでは差があまりないが、困窮層では10ポイント以上高い。なお、虫歯を治療しない理由として「経済的に困難」とする回答はみられなかった。(保)

■こどもの虫歯の状況

%		問14 お子さんには虫歯がありますか。						
		n	ある（未治療）	ある（治療中）	あった（治療済）	ない	わからない	不明・無回答
全体		1,714	3.7	3.3	28.2	60.5	3.0	1.3
小学生	困窮層	32	18.8	3.1	31.3	43.8	3.1	0.0
	周辺層	86	1.2	4.7	26.7	61.6	3.5	2.3
	一般層	561	2.5	3.2	34.8	56.3	2.0	1.2
中学生	困窮層	36	13.9	2.8	13.9	63.9	5.6	0.0
	周辺層	79	3.8	5.1	21.5	59.5	8.9	1.3
	一般層	499	3.6	3.6	25.1	63.5	3.2	1.0

次期計画に向けた課題

○経済状況の差が健康面での格差にもつながっていることが示唆され、支援においては適切な分野横断・連携が必要となる。

○虫歯については、一般層ではそもそも「ない」の回答割合が高い。虫歯のない口腔環境づくりに向けて、乳幼児期における指導が重要となる。

(4) こどもの権利について

アンケートの傾向

- こどもの権利（安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなど）について、「知らない」と回答した保護者の割合は、約1割である。この割合は、中学生保護者の困窮層で高いが、それ以外は小中ともに、層を問わず概ね同程度である。（保）
- こども本人については、こどもの権利について「知らない」と回答した割合が、小中ともに困窮層で最も高く、他の層に比べて10～20ポイント程度高い。（児童）

■こどもの権利について知っているか〔保護者〕

%	問30 あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。						
	n	よく知っている	ある程度少し知っている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答	
全体	1,714	20.9	40.1	29.6	8.9	0.4	
小学生	困窮層	32	12.5	34.4	43.8	9.4	0.0
	周辺層	86	20.9	46.5	24.4	8.1	0.0
	一般層	561	20.7	41.5	30.7	7.0	0.2
中学生	困窮層	36	16.7	25.0	36.1	22.2	0.0
	周辺層	79	19.0	34.2	38.0	8.9	0.0
	一般層	499	22.4	40.9	28.3	8.4	0.0

■こどもの権利について知っているか〔上：小学生児童、下：中学生生徒〕

%	問16 あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。						
	n	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答	
全体	824	11.9	18.9	32.0	35.1	2.1	
層化	困窮層	32	12.5	9.4	28.1	50.0	0.0
	周辺層	86	12.8	15.1	37.2	34.9	0.0
	一般層	561	11.9	20.1	30.7	35.3	2.0

%	問16 あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。						
	n	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答	
全体	765	21.3	25.8	28.2	23.7	1.0	
層化	困窮層	36	22.2	19.4	19.4	33.3	5.6
	周辺層	79	16.5	27.8	34.2	21.5	0.0
	一般層	499	21.8	26.7	26.3	24.6	0.6

- こどもが大切にされていると感じるかについて、「そう思う」と回答した割合は、小学生全体で約6割、中学生全体で約5割となっている。(児童)
- 「まったくそう思わない」と回答した割合を層別にみると、小中ともに概ね同程度であるが、小学生の困窮層においては1割程度と比較的高い。

■こどもが大切にされていると感じるか〔小学生児童〕

%		問18 あなたは、生活のなかで、文化・国籍などのちがいや障害のあるなしにかかわらず、こどもが大切にされていると感じていますか。					
		n	そう思う	ときどきそう思う	ほとんどそう思わない	まったくそう思わない	不明・無回答
層化	全体	824	57.8	27.4	9.1	2.7	3.0
	困窮層	32	46.9	25.0	15.6	9.4	3.1
	周辺層	86	54.7	24.4	17.4	3.5	0.0
	一般層	561	59.2	28.0	7.8	2.1	2.9

■こどもが大切にされていると感じるか〔中学生生徒〕

%		問18 あなたは、生活のなかで、文化・国籍などのちがいや障害のあるなしにかかわらず、こどもが大切にされていると感じていますか。					
		n	そう思う	ときどきそう思う	ほとんどそう思わない	まったくそう思わない	不明・無回答
層化	全体	765	50.7	33.2	11.5	3.5	1.0
	困窮層	36	47.2	33.3	11.1	2.8	5.6
	周辺層	79	46.8	31.6	17.7	3.8	0.0
	一般層	499	51.9	32.5	11.2	3.8	0.6

次期計画に向けた課題

- こどもの権利の認知度は、保護者・こども本人とも、全体で見ても決して高くなく、更なる周知・啓発が求められる。特にこども本人は、困窮層で知らない割合が高く、自身に権利があるという意識の醸成が重要と考えられる。
- こどもが大切にされていると感じるかについて、最高評価の「そう思う」は小中学生とも5割台にとどまっており、こどもに寄り添う体制づくりの更なる推進が求められる。

(5) こどもの自己肯定感について

アンケートの傾向

- 将来の夢が「ある」と回答した児童の割合は、小学生全体で約7割、中学生全体で約5割であり、小中ともに困窮層で最も高い。(児童)

■こどもの夢の有無〔左：小学生児童、右：中学生生徒〕

%		問3 あなたは、将来の夢がありますか。				問3 あなたは、将来の夢がありますか。			
		n	ある	ない	不明・無回答	n	ある	ない	不明・無回答
層化	全体	824	68.9	26.9	4.1	765	46.9	50.7	2.4
	困窮層	32	81.3	18.8	0.0	36	50.0	47.2	2.8
	周辺層	86	64.0	31.4	4.7	79	46.8	49.4	3.8
	一般層	561	70.2	26.7	3.0	499	46.9	51.3	1.8

- 「友だちに好かれていると思う」に対して、「とてもそう思う」と回答する割合は、困窮度が高い層ほど低く、小中ともに、困窮層と一般層では15ポイントほどの差が生じている。(児童)
- また、「自分のことが好きだ」に対して、「とてもそう思う」と回答する割合は、小中ともに、一般層と周辺層ではあまり差がないのに対し、困窮層では10ポイント以上低い。(児童)

■友だちに好かれていると思う〔上段：小学生児童、下段：中学生生徒〕

%		問12 C 友だちに好かれていると思う					
		n	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
層化	全体	824	29.7	43.9	16.6	5.5	4.2
	困窮層	32	15.6	46.9	25.0	12.5	0.0
	周辺層	86	22.1	51.2	18.6	7.0	1.2
	一般層	561	31.7	43.3	17.1	4.1	3.7

%		問12 C 友だちに好かれていると思う					
		n	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
層化	全体	765	29.8	53.5	10.8	3.3	2.6
	困窮層	36	16.7	47.2	22.2	5.6	8.3
	周辺層	79	24.1	57.0	11.4	6.3	1.3
	一般層	499	31.1	53.5	10.0	3.0	2.4

■自分のことが好きだ〔上段：小学生児童、下段：中学生生徒〕

%		問33 H 自分のことが好きだ					
		n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
層化	全体	824	35.1	33.0	15.3	10.2	6.4
	困窮層	32	25.0	18.8	31.3	18.8	6.3
	周辺層	86	36.0	30.2	19.8	9.3	4.7
	一般層	561	35.1	34.2	14.8	10.0	5.9

%		問34 H 自分のことが好きだ					
		n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
層化	全体	765	31.2	34.0	20.3	12.2	2.4
	困窮層	36	16.7	36.1	16.7	27.8	2.8
	周辺層	79	30.4	27.8	24.1	15.2	2.5
	一般層	499	31.9	35.9	19.0	11.4	1.8

次期計画に向けた課題

○将来の夢をもつ割合は困窮層において最も高い一方、自己肯定感の面では困窮層において低調な傾向が見られる。加えて、全体で見ても、自己肯定感は必ずしも高いとは言えず、子どもが様々な活動機会を通して成功体験を積み重ねていけること、周囲の人間との関わりの中で自分の良い面を見つけていけること等が重要と考えられる。

(6) 家庭での生活状況について

アンケートの傾向

○保護者とこどもの会話の頻度について、困窮層において「よくする」の割合が低い。(保)

■こどもとの会話の頻度

%		問22 あなたは、お子さんとよく会話をしますか。					
		n	よくする	たまにする	あまりしない	これまで特にしたことがない	不明・無回答
全体		1,714	81.3	15.9	1.5	0.1	1.2
小学生	困窮層	32	75.0	21.9	0.0	0.0	3.1
	周辺層	86	88.4	9.3	1.2	0.0	1.2
	一般層	561	88.2	10.9	0.2	0.0	0.7
中学生	困窮層	36	69.4	27.8	2.8	0.0	0.0
	周辺層	79	72.2	21.5	5.1	0.0	1.3
	一般層	499	76.8	19.0	2.4	0.2	1.6

○一番ほっとできる場所については小中ともに、いずれの層でも「自宅」の割合が最も高い。一方その割合は、困窮層において、一般層・周辺層と比較して10ポイント以上低い。

■一番ほっとできる場所〔小学生児童〕

%		問7 あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。						
		n	A 自分の家	B 友だちの家	C 塾や習い事	D 児童館	学校(クラブ活動・江東きっずクラブなど)	F スポーツクラブの活動の場
層化	全体	824	77.3	1.7	2.2	1.3	0.8	0.8
	困窮層	32	68.8	3.1	0.0	0.0	0.0	6.3
	周辺層	86	82.6	1.2	1.2	2.3	1.2	0.0
	一般層	561	78.6	1.2	2.3	1.1	0.7	0.7
		G 公園	H 図書館	I 商店街やショッピングモール	J ゲームセンター	K その他	X ほっとできる居場所はない	不明・無回答
		3.4	2.3	0.2	0.2	0.6	4.4	4.6
		6.3	0.0	0.0	0.0	3.1	9.4	3.1
		3.5	4.7	0.0	0.0	0.0	2.3	1.2
		3.6	2.3	0.2	0.4	0.5	4.3	4.1

■一番ほっとできる場所〔中学生生徒〕

%		問7 あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。						
		n	A 自分の家	B 友だちの家	C 塾や習い事	D 児童館	E 学校(部活など)	F スポーツクラブの活動の場
層化	全体	765	83.5	0.7	1.0	0.1	4.3	0.5
	困窮層	36	72.2	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	周辺層	79	82.3	1.3	0.0	0.0	6.3	1.3
	一般層	499	84.6	0.8	1.4	0.2	3.8	0.6
		G 公園	H 図書館	I 商店街やショッピングモール	J ゲームセンター	K その他	X ほっとできる居場所はない	不明・無回答
		0.4	1.3	0.3	0.0	0.7	4.4	2.7
		0.0	2.8	0.0	0.0	5.6	8.3	5.6
		0.0	2.5	0.0	0.0	1.3	5.1	0.0
		0.2	1.0	0.4	0.0	0.4	4.0	2.6

○過去1年間の子どもの体験について、金銭的な理由で「ない」と回答した割合をみると、一般層では多くの項目でほぼ0%であるのに対し、生活困難層では一定以上となっており、特に困窮層では、他の層に比べて顕著に高い。(保)

■過去1年間に子どもとの各種の体験が「ない(金銭的理由)」割合

%		問38 過去1年間に、子どもとの以下の体験が「ない(金銭的理由)」割合					
		n	A 海水浴 に行く	B 博物館・ 科学館・美術 館などに行く	C キャンプ やバーベキュー に行く	D スポーツ 観戦や劇場 に行く	E 遊園地 やテーマパーク に行く
全体		1,714	2.4	1.5	2.9	2.8	5.0
小学生	困窮層	32	40.6	34.4	50.0	53.1	62.5
	周辺層	86	7.0	2.3	5.8	9.3	8.1
	一般層	561	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
中学生	困窮層	36	38.9	25.0	38.9	33.3	58.3
	周辺層	79	5.1	0.0	7.6	5.1	10.1
	一般層	499	0.0	0.0	0.0	0.2	1.2

次期計画に向けた課題

- 保護者との会話について、「よくする」の割合は困窮層で比較的低いですが、全体で見ても必ずしも十分高いとは言えず、子どもと向き合う時間をもつことなどの啓発の必要性も示唆される。
- 金銭的理由で各種の体験が欠如している状況からは、貧困が様々な面で子どもに影響を及ぼしうることがうかがえる。直接の金銭的支援のほか、経済的状況に関わらず参加できる活動機会の創出等が重要と考えられる。

(7) 地域での状況について

アンケートの傾向

- 頼れる存在が身近にいるかや、悩みを相談できる相手の有無については、困窮度が高い層ほど「いない」割合が高く、特に困窮層で顕著に高い。(保)
- 一方、頼れる存在が身近にいるかについては、生活困難層に限らず全体でみても「いない」が3割を超えている。(保)

■身近な頼れる相手の有無

%		問26 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などが身近にいますか。			
		n	いる	いない	不明・無回答
全体		1,714	66.8	32.7	0.5
小学生	困窮層	32	50.0	50.0	0.0
	周辺層	86	67.4	32.6	0.0
	一般層	561	69.5	30.5	0.0
中学生	困窮層	36	47.2	52.8	0.0
	周辺層	79	65.8	34.2	0.0
	一般層	499	64.5	35.1	0.4

■本当に困ったときに相談できる相手の有無

%		問27 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族、友人、親戚、同僚など)がいますか。			
		n	いる	いない	不明・無回答
全体		1,714	88.7	10.9	0.4
小学生	困窮層	32	65.6	34.4	0.0
	周辺層	86	87.2	11.6	1.2
	一般層	561	92.5	7.5	0.0
中学生	困窮層	36	69.4	30.6	0.0
	周辺層	79	83.5	16.5	0.0
	一般層	499	88.8	11.0	0.2

- また、地域での付き合いについても、困窮度が高い層ほど交流を持っていない傾向がみられ、特に小学生保護者の困窮層においては「まったく付き合いがない」が3割を超えている。(保)
- 一方、生活困難層以外を含めた全体でみても、「よく付き合いしている」「ある程度付き合いしている」を合わせて5割程度にとどまっている。(保)

■地域での付き合いの状況

%		問28 あなたのご家庭では、地域での付き合いをどの程度していますか。					
		n	よく付き合いしている	ある程度付き合い合っている	あまり付き合い合っていない	まったく付き合い合っていない	不明・無回答
全体		1,714	10.3	41.3	36.9	11.2	0.3
小学生	困窮層	32	6.3	25.0	37.5	31.3	0.0
	周辺層	86	17.4	43.0	29.1	10.5	0.0
	一般層	561	11.1	45.8	34.8	8.4	0.0
中学生	困窮層	36	2.8	25.0	50.0	22.2	0.0
	周辺層	79	11.4	27.8	41.8	19.0	0.0
	一般層	499	9.4	37.7	39.7	13.0	0.2

次期計画に向けた課題

○生活困難層の家庭は、地域の中で孤立している傾向が特に強いが、全体で見ても、地域とのつながりは十分でない状況がうかがえる。交流の機会の創出や、そのための場づくりなど、地域でこどもを育てていく体制づくりの推進が求められる。